

生命環境科学研究科 環境科学専攻（博士前期課程）
原子力災害による環境・生態系影響リスクマネジメントプログラム

専門基礎科目（選択必修）環境科学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD004	環境科学実習		3	1.0	1	春AB	水3,4	理科系 B107 横井 智之, 新開 泰弘, 奈佐原 顕 郎, ヤバル モスタセロ ヘルムート, 梶山 幹夫	環境科学に関する基礎的手法,並びに自然・生物環境の巡検,都市・集落の視察,環境関連施設の見学等を通じて環境科学の諸側面を体験的に学習する。	01AD113と選択必修,01AD005および01AD006と同時履修を原則とする
01AD005	環境科学概論		1	1.0	1	春AB	水1	理科系 B107 張 振亜, 植田 宏 昭, 村上 暁信, 松 井 健一, 山路 恵 子, 横井 智之	環境科学に関する基礎的な事項について,広い分野から概説する。また,情報倫理,研究倫理など,大学院生として取得すべき内容も含んだ教育を行う。	01AD111と選択必修,01AD004および01AD006と同時履修を原則とする
01AD006	環境科学演習		2	1.0	1	春AB	水2	理科系 B107 横井 智之, 新開 泰弘, 奈佐原 顕 郎, ヤバル モスタセロ ヘルムート, 梶山 幹夫	環境科学分野における,より実践的な知見や技術を学習する。	01AD112と選択必修,01AD004および01AD005と同時履修を原則とする
01AD111	Introduction to Environmental Sciences		1	1.0	1	秋AB	水1	理科系 C103 張 振亜, 辻村 真 貴, 村上 暁信, 水 野谷 剛, 松井 健 一, 横井 智之	This course introduces core issues in environmental sciences and approach them from both natural and social sciences. It aims to foster both global/local and highangle/lowangle views.	01AD112および01AD113と同時履修を原則とする 01AJ001と同一。 英語で授業。 01AD005と選択必修
01AD112	Exercises in Environmental Sciences		2	1.0	1	秋AB	水2	理科系 C103 水野谷 剛, ヤバル モスタセロ ヘルムート, 雷 中方, 奈佐原 顕 郎	This course aims to enhance the effectiveness of hands-on knowledge acquisition activities in "Field & Laboratory Practices in Environmental Sciences." Students are expected to master basic research skills, information ethics, group discussion/presentation, and data collection methodologies, including plant identification and waste management.	01AD111および01AD113と同時履修を原則とする 01AJ002と同一。 英語で授業。 01AD006と選択必修
01AD113	Field and Laboratory Practices in Environmental Sciences		3	1.0	1	秋AB	水3,4	理科系 C103 水野谷 剛, ヤバル モスタセロ ヘルムート, 雷 中方, 奈佐原 顕 郎	Keeping in mind of global and local environmental problems, this course aims to foster knowledge acquisition and problem-solving skills in practical and clinical settings. Students are expected to engage in field activities and acquire multidisciplinary skills and methods in natural sciences, social sciences and humanities that clarify, describe, solve and explain environmental problems.	01AD111および01AD112と同時履修を原則とする 01AJ003と同一。 英語で授業。 01AD004と選択必修

専門科目（選択必修科目）環境科学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD013	環境科学セミナー1S		2	1.5	1	春ABC		環境科学教員	環境科学の諸分野に関する内外の論文を講読し,その内容について相互に討議を行う。	01AD114と選択必修
01AD014	環境科学セミナー1F		2	1.5	1	秋ABC		環境科学教員	環境科学の諸分野に関する内外の論文を講読し,その内容について相互に討議を行う。	01AD115と選択必修
01AD015	環境科学セミナー2S		2	1.5	2	春ABC		環境科学教員	環境科学の諸分野に関する基礎的文献を講読し,具体的事例に基づいて問題解決の方法を討議する。	01AD116と選択必修
01AD016	環境科学セミナー2F		2	1.5	2	秋ABC		環境科学教員	環境科学の諸分野に関する基礎的文献を講読し,具体的事例に基づいて問題解決の方法を討議する。	01AD117と選択必修
01AD036	環境科学研究1F		8	3.0	1	秋ABC		環境科学 研究指 導教員	環境科学の各専門領域に関連する実験,調査,解析手法を具体的事例に即して習得させ,修士論文作成の指導を行う。	原則として春学期入学 者のみ履修可 01AD118と選択必修

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD037	環境科学研究2S	8	3.0	2	春ABC	随時		環境科学 研究指導教員	環境科学の各専門領域に関連する実験、調査、解析手法を具体的事例に即して習得させ、修士論文作成の指導を行う。	01AD119と選択必修
01AD038	環境科学研究2F	8	3.0	2	秋ABC	随時		環境科学 研究指導教員	環境科学の各専門領域に関連する実験、調査、解析手法を具体的事例に即して習得させ、修士論文作成の指導を行う。	01AD120と選択必修
01AD039	環境科学研究1S	8	3.0	2	春ABC	随時		環境科学 研究指導教員	環境科学の各専門領域に関連する実験、調査、解析手法を具体的事例に即して習得させ、修士論文作成の指導を行う。	原則として、秋学期入学者のみ履修可能 01AD122と選択必修
01AD114	Seminar in Environmental Sciences 1S	2	1.5	1	春ABC	応談		環境科学教員	In this course, students read academic papers on various environmental studies and discuss the contents.	01AD013と選択必修 英語で授業。
01AD115	Seminar in Environmental Sciences 1F	2	1.5	1	秋ABC	応談		環境科学教員	In this course, students read academic papers on various environmental studies and discuss the contents.	01AD014と選択必修 英語で授業。
01AD116	Seminar in Environmental Sciences 2S	2	1.5	2	春ABC	応談		環境科学教員	Students in this course read introductory papers and case studies on various environmental science fields and discuss solutions to actual problems.	01AD015と選択必修 英語で授業。
01AD117	Seminar in Environmental Sciences 2F	2	1.5	2	秋ABC	応談		環境科学教員	Students in this course read introductory papers and case studies on various environmental science fields and discuss solutions to actual problems.	01AD016と選択必修 英語で授業。
01AD118	Thesis Seminar in Environmental Sciences 1F	8	3.0	1	秋ABC	随時		環境科学 研究指導教員	In this course, students receive instructions for writing master's theses. They acquire skills and knowledge for experiment, survey, and analysis methods that are relevant to a specific case.	原則として春学期入学者のみ履修可 英語で授業。 01AD036と選択必修
01AD119	Thesis Seminar in Environmental Sciences 2S	8	3.0	2	春ABC	随時		環境科学 研究指導教員	In this course, students receive instructions for writing master's theses. They acquire skills and knowledge for experiment, survey, and analysis methods that are relevant to a specific case.	01AD037と選択必修 英語で授業。
01AD120	Thesis Seminar in Environmental Sciences 2F	8	3.0	2	秋ABC	随時		環境科学 研究指導教員	In this course, students receive instructions for writing master's theses. They acquire skills and knowledge for experiment, survey, and analysis methods that are relevant to a specific case.	01AD038と選択必修 英語で授業。
01AD122	Thesis seminar in Environmental Sciences 1S	8	3.0	2	春ABC	随時		環境科学 研究指導教員	In this course, students receive instructions for writing master's theses. They acquire skills and knowledge for experiment, survey, and analysis methods that are relevant to a specific case.	原則として秋学期入学者のみ履修可 英語で授業。 01AD039と選択必修

専門科目(必修科目)原子力災害

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD700	原子力災害環境影響評価論I	1	1.0	1	春AB	木1	理科系B501	恩田 裕一, 末木啓介, 高橋 純子, 坂口 綾, 加藤 弘充, 関口 智寛, 浅沼 順	原発事故等に伴って環境中に放出された放射性核種について、その拡散、沈着、移行過程と水・物質循環との関わりを理解する。また、原子力災害の環境影響評価のためのモニタリング手法およびモデリング手法について紹介する。	
01AD701	原子力災害環境影響評価論II	1	1.0	1	春C	集中		恩田 裕一	日本原子力機構が取り組む福島復興事業や原発の廃炉措置に関する研究および緊急時対応などについて紹介する。	7/3:総A110、7/4:総A107 01CM920と同一。 7/3-7/4
01AD702	原子力災害環境影響評価論III	1	1.0	1	春C	集中		恩田 裕一	原子力災害に対する緊急取り組みの現状と課題について、緊急時モニタリング、大気拡散、農業への影響、河川・湖沼・生態系への影響、測定法等を紹介する。	7/9、7/11-13:総A111、7/11:総A107 7/9-7/13
01AD705	原子力災害特別セミナー	2	1.0	1・2	春C	集中		恩田 裕一	IAEA、IRSN、ウクライナ気象研究所、リバプール大学、プリマス大学等の招待講師によるセミナー	総A110 英語で授業。 7/2-7/13

専門科目(選択必修原子力関係)原子力災害

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD706	環境放射能リスク評価インターンシップI	3	1.0	1・2	通年	集中		恩田 裕一	日本原子力研究開発機構において計画書に基づいて実習し、高度な実践的経験と知識、技術を得る。	原則として、原子力災害環境影響評価論I, II, IIIを履修していること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD707	環境放射能リスク評価インターンシップII	3	1.0	1・2	通年	集中		恩田 裕一	国立環境研究所において計画書に基づいて実習し、高度な実践的経験と知識、技術を得る。	原則として、原子力災害環境影響評価論I, II, IIIを履修していること。
01AD708	環境放射能リスク評価インターンシップIII	3	1.0	1・2	通年	集中		恩田 裕一	福島県環境創造センターにおいて計画書に基づいて実習し、高度な実践的経験と知識、技術を得る。	原則として、原子力災害環境影響評価論IIIを履修していること。
01AD709	原子力災害海外特別実習	3	1.0	1・2	夏季休業中	集中		恩田 裕一	IAEA, IRSNなどの海外協力機関において計画書に基づいて実習し、高度な実践的経験と知識、技術を得る。	原則として、原子力災害環境影響評価論I, II, IIIを履修していること。 英語で授業。

専門科目(選択)原子力災害

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD041	環境科学実践実習I	3	1.0	1・2	通年	応談		張 振亜	インターンシップ、ボランティア、社会体験活動など環境科学の実践活動を行う。履修に際し、事前に計画書を専攻長に提出し、専攻長の了承を受け、実施後は報告書を提出しなければならない。	
01AD042	Environmental Science Practicum I	3	1.0	1・2	通年	応談		張 振亜	インターンシップ、ボランティア、社会体験活動など環境科学の実践活動を行う。履修に際し、事前に計画書を専攻長に提出し、専攻長の了承を受け、実施後は報告書を提出しなければならない。	英語で授業。
01AD043	環境科学実践実習II	3	2.0	1・2	通年	応談		張 振亜	60時間以上のインターンシップ、ボランティア、社会体験活動など環境科学の実践活動を行う。履修に際し、事前に計画書を専攻長に提出し、専攻長の了承を受け、実施後は報告書を提出しなければならない。	
01AD044	Environmental Science Practicum II	1	2.0	1・2	通年	随時		張 振亜	60時間以上のインターンシップ、ボランティア、社会体験活動など環境科学の実践活動を行う。履修に際し、事前に計画書を専攻長に提出し、専攻長の了承を受け、実施後は報告書を提出しなければならない。	英語で授業。
01AD051	環境科学実践実習III	3	4.0	1・2	通年	応談		張 振亜	学際的な実務能力を臨地教育によって得るため、現場において60時間以上の実習を行う。履修に際し、事前に計画書を専攻長に提出し、専攻長の了承を受け、実施後は報告書を提出しなければならない。	別資料参照のこと
01AD052	Environmental Science Practicum III	3	4.0	1・2	通年	応談		張 振亜	学際的な実務能力を臨地教育によって得るため、現場において60時間以上の実習を行う。履修に際し、事前に計画書を専攻長に提出し、専攻長の了承を受け、実施後は報告書を提出しなければならない。	英語で授業。
01AD081	International Field Appraisal I	3	1.0	1・2	通年	応談		水野谷 剛, 張 振亜, ヤバール モスタセロ ヘルムート, 雷 中方	This course aims to deepen understanding about the cause, and state of environmental problems in overseas to find a potential countermeasure against them.	英語で授業。
01AD082	International Field Appraisal II	3	1.0	1・2	通年	応談		水野谷 剛, 張 振亜, ヤバール モスタセロ ヘルムート, 雷 中方	This course aims to foster in-depth analytical skills for monitoring and identifying environmental problems in a local and global context by engaging in hand-on activities overseas.	英語で授業。
01AD201	環境フィールド実習	3	1.0	1・2	春ABC秋A	集中		奈佐原 顕郎, 横井 智之, 廣田 充, 安立 美奈子	環境問題を理解し有効な対策を講じるには、フィールドの様々な現状の把握、つまりフィールドを読み解くことが不可欠である。さらに、一つの側面のみならず様々な側面からの現状把握が肝要である。本実習では多分野の教員が連携して、フィールドを読み解くための知識・技術・解析法等について、フィールド調査を通じて習得することを目指す。	01AH209と同一。 5/1-10/31
01AD211	生態リモートセンシング論	1	1.0	1	秋AB	月5	理科系 B107	松下 文経	リモートセンシングの基礎原理について解説した後、生物圏の機能を制御する生物学的なプロセスや大気圏と生物圏との間のガス交換などのリモートセンシングに関する手法を概説する。	
01AD212	大気環境論	1	2.0	1・2	春AB	火3, 4	理科系 C502	上野 健一, 日下 博幸	大気熱力学, 天気図解析, および熱収支の視点から、大気陸面相互作用, 都市気候や山岳気象などを取り上げる。さらに、大気環境を理解するための数値モデルについて説明する。発表・討論や野外観測体験なども設ける。気象に関する基礎知識を持っていない院生を対象とする。	
01AD214	大気汚染学	1	2.0	1・2	春C	集中	理科系 B502	高見 昭恵, 菅田 誠治, 永島 達也	都市域から東アジア行きまでの領域規模の大気汚染について解説する。内容としては、オゾン、粒子状物質などの大気汚染の現状、生成、反応、消滅などの大気中でのプロセス、大気観測の方法、大気モデルについて紹介する。	西暦偶数年度開講。 7/23-7/26 連係大学院方式以外の学生も受講可能
01AD216	環境物質輸送論	1	1.0	1・2					気圏, 水圏, 地圏における物質の輸送プロセスについて、基礎的な理論とその応用について講述する。	01AC034と同一。 2018年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD221	地球環境統計解析	1	1.0	1・2					地球環境科学におけるデータ解析に必要な、統計解析手法について議論する。特に、時系列や空間データの相関解析、スケール、周波数解析などの手法の、実践的な応用手法を中心に扱う。	西暦奇数年度開講。01AC032と同一。
01AD222	Soil and Water Environmental Colloid Science	1	2.0	1・2	春AB	木1,2		足立 泰久	Introductory and fundamental lecture of colloid and interface science is given placing an emphasis on the application to soil and water, and bio and environmental engineering..	Introductory and fundamental lecture of colloid and interface science is given placing an emphasis on the application to soil and water, and bio-environmental engineering. 01AB765と同一。英語で授業。9:30-16:00 生農B201(Seinou B201)
01AD224	水環境モデリング	1	1.0	1・2					水、生態系、流域などに関わる現象を説明し、その数理モデル化手法を解説する。	02AF361と同一。2018年度開講せず。
01AD225	植物環境生理学	1	1.0	1・2	秋AB	月1	総合研究棟A211	佐藤 忍	葉、根、花などの各器官からなる高等植物は、土壌と大気という全く異なる環境にまたがって生育しており、移動できないという特性から、器官間の相互作用を通してこれらの環境にうまく適応している。本講義では、高等植物の生活環において、光や温度、水分、無機栄養、病傷害など、植物を取り巻く環境要因とその変化に対する高等植物の生理的応答と適応のメカニズムに関して、主に個体から細胞レベルの観点から、最近の分子知見も交えながら概説する。	教室は総合A211 02AF332と同時実施。
01AD227	環境生態生化学	1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	理科系B501	島田 秋彦, 松本 宏	前半では約40億年前の地球上で誕生した原始生命体について解説し、生命として最小限持つ必要のある代謝系を推定し生命体として必要な最小サイズを実際に理論計算する。後半では、環境要因の植物代謝系に及ぼす影響と植物の環境適応のメカニズムおよび種々の天然および人工化学物質の生態系への影響と安全性評価について論述する。	
01AD228	環境微生物遺伝学	1	2.0	1・2	春AB	月5,6	理科系B107	野村 暢彦	微生物は、自然生態系に於いて分解者として位置付けられている。このことを理解するため、環境中の微生物群の挙動を分子生物学的視点から論述する。また、微生物機能を利用した環境修復技術についても遺伝子レベルで解説する。	
01AD230	環境政策論	1	2.0	1・2	春学期	集中	理科系B107	水野谷 剛	環境省の行政官による講義。まず、環境政策の根幹である環境基本法について解説し、次に、環境アセスメント、地球環境問題、環境化学物質、廃棄物とリサイクル、自然保護について、各担当者から環境行政を担っている立場からの講義が行われる。	日程の詳細は後日掲示 02AF111と同一。5/1-7/31
01AD232	環境政策概論	1	1.0	1・2	春AB	月1	理科系B501	甲斐田 直子	環境政策の形成・実施過程と歴史的展開を、環境経済学的アプローチ、制度論的アプローチにもとづいて解説する。講義では、日本、アジア地域、欧米の環境政策を比較しながら、現代社会が直面している多様な環境問題における地域・都市・国・地球規模での関係主体(政府・民間・市民)の関係性を議論する。	
01AD233	食業資源環境学特論	1	2.0	1・2	春BC	金1,2		磯田 博子	地球上の様々な食業資源の機能解析と生息環境に関する研究の現状を解説し、先端的な機能性・持続的管理方法の導入による新たな食業資源環境研究について論じる。	共同研究棟A309において実施 昼夜制学生について個別に日程を調整する
01AD234	水環境論	1	1.0	1・2	春AB	金3	理科系C502	辻村 真貴, 恩田 裕一	環境における水の特性、役割、意義を、水に関わる環境問題を例としながら、理解を深め、水を通して総合的に環境をみる重要性を習得する。各種の水環境問題の概要を理解するだけでなく、そのバックグラウンドとなる基礎的知識の理解にも重点をおく。	他大学からの受講希望が多い場合は遠隔講義室で実施する予定。事前に実施教室を確認すること。01AC202, 01AH308と同一。
01AD301	Introduction to Water Environment	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	理科系B107	辻村 真貴	This class aims to foster ability to understand principles of water resources issues in relation with regional issues based on scientific/ anthropogenic knowledge of hydrological cycle and water governance. The class consists of lectures on basics of hydrology and discussion on textbook of water governance/ policy	01AH309, 01AJ302, 02AF112と同一。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD303	Ecological Soil Resources	1	2.0	1・2	夏季休業中	集中	理科系 C502	田村 憲司, 浅野 真希	土壌資源は、あらゆる生態系の基盤として、地球上の生命を育む貴重な資源である。本講義では、世界の特徴的な幾つかの異なる生態系における土壌資源、とくに、その分布・生成・性質および機能について詳細に解説すると共に、実際の土壌劣化・荒廃が生じている地域の土壌資源を例に挙げながら、土壌資源の管理・保全について学習する。	英語で授業。 8/10, 8/13-8/14
01AD304	Environmental Analytical Chemistry	1	1.0	1・2	秋AB	木5	理科系 C502	末木 啓介	Environmental science encompasses the study of the whole human environment and in doing so makes use of all scientific disciplines. In a vast number of studies the need emerges for information on the composition of the parts of the environment concerned. Analytical chemistry employs physico-chemical principles to make measurements of chemical species. The practical sequence of operation which is used to obtain an analytical result from a sample, is known as the instrumental analytical method.	英語で授業。
01AD305	Environmental Microbiology	1	2.0	1・2	秋AB	火5,6	理科系 C502	野村 暢彦, 豊福 雅典, Utada Shinichi Andrew	Microorganisms are an important part of natural environments. Fundamental knowledge on environmental microbiology will be lectured. This lecture deals with the ecological role of microorganisms, the physiological state of microorganisms in the environment, microorganisms in extreme environments and application of microbial functions for conservation of environments.	英語で授業。
01AD306	Remote Sensing	1	1.0	1	春AB	木5	理科系 B107	奈佐原 顕郎	Remote sensing (observation of earth surface from air and space) is a powerful tool for environmental monitoring and assessment. We learn principles, utility, and potential of this technology. As a basic background of this lecture, students are encouraged to study elementary physics, mathematics, and geography	英語で授業。他大学からの受講希望が多い場合は遠隔講義室で実施する予定。事前に実施教室を確認すること。 01AH310と同一。
01AD307	Utilization and Recycling of Bio-resources	1	2.0	1・2	秋AB	火1,2	理科系 C502	張 振亜, 内海 真生, 雷 中方	Main contents and topics: 1. Basic concepts in bioresource utilization and recycling—bioresource and biomass, wastewater and waste, bioenergy, etc 2. Fundamentals of design for waste(water) utilization and recycling—reactor design and optimization 3. Introduction to main technologies for bioresource utilization and recycling—wastewater, solid waste combustion, gasification, carbonization, methane/hydrogen/ethanol production, etc 4. Case studies—biogasification technologies, strategies and management	01AJ305, 02AF114と同一。 英語で授業。
01AD311	Introduction to Waste Management	1	2.0	1・2	春AB	金1,2	理科系 C103	ヤバール モスタセロ ヘルムート	One of the greatest challenges modern societies face is finding ways to increase economic growth while minimizing resource consumption and environmental degradation. The highly inefficient use of natural resources, from their extraction to final disposal, is already damaging the planet because most of the extracted resources end up as waste. This class will introduce the main aspects concerning integrated waste management including current waste treatment technologies, strategies, policies and modeling of waste management systems.	01AJ303と同一。 英語で授業。
01AD312	Solid Waste Management Systems Planning	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	理科系 B107	ヤバール モスタセロ ヘルムート	In addition to health and safety concerns, the Planning of waste management systems must also be sustainable i.e. environmentally sound, socially acceptable and economically viable. This class introduces the tools necessary to design integral solid waste management systems. The class provides specific modeling based on life-cycle thinking towards planning of waste management systems through scenario design.	01AJ304と同一。 英語で授業。
01AD315	Climate System Study II	1	1.0	1・2	春AB	火6	総合 A217A	田中 博	Atmospheric general circulation study is the core of climate system study. The climate system study consists of many climate subsystems of oceanography, sea ice, land surface process, cryosphere, and biosphere with the core of the atmospheric general circulation model. In this class, we study the basic concept of the general circulation of the atmosphere.	01AC245と同時実施。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD316	Climate System Study I	1	1.0	1・2	春AB	木3	理科系 C103	植田 宏昭, 金江 陽一	The Earth's climate system represents complex interactions between the atmosphere, ocean and land. This class aims to foster ability to understand general basis on elements of climate system, their interactions, and their variability including El Nino Southern Oscillation and global warming. This course will also introduce 1) conceptual difference between weather forecast and climate projection, and 2) physical mechanisms responsible for anomalous weather and climate events (heavy rainfall, drought, heat wave, etc) occurred in recent years.	01AJ306と同一。01AC241と同時実施。英語で授業。
01AD317	Introduction to Environmental Policy	1	1.0	1・2	秋AB	金3	理科系 C502	甲斐田 直子	In this course, students learn environmental policy mechanisms and related issues from institutional and socio-economic viewpoints. Topics at the classes cover historical and current policy developments in environmental problems at local, national, regional and global scales as well as engagement of different social actors such as governments and private sectors.	01AJ307, 01D2518と同一。英語で授業。
01AD318	Vegetation Science	1	1.0	1・2	秋A	火1,2	理科系 B107	上條 隆志, 川田 清和, 清野 達之	Vegetation is a major component of our landscape. In this course, students learn concepts of vegetation science, world vegetation, climatic and edaphical factors on distribution of plant communities, vegetation dynamics and human impacts on vegetation. Tropical rainforests, Japanese forests, deserts and grasslands are focused in this course. Students also learn field practices of vegetation survey.	01AH204, 02JZ010と同一。英語で授業。01AD432「植生学」、自然保護寄附講座の「植生学」、「Vegetation science」とは重複履修出来ない。
01AD401	Environmental Field Appraisal	3	1.0	1	通年	集中		水野谷 剛	This course invites students to visit some survey sites in Japan in order to develop analytical and assessment skills and heighten knowledge about some selected environmental science related topics.	英語で授業。詳細後日周知
01AD410	生態系生態学	1	1.0	1・2	春AB	月3	理科系 C502	廣田 充, 安立 美奈子	多岐にわたる生態学分野の中で、システムとしての生態系の構造と機能、およびそれらの関係する知識の習得を目指す。特に、システムを理解するうえで不可欠な生態系における物質循環にフォーカスをあて、様々な物質循環とその調査法を理解しつつ、生態系における様々な環境問題の問題についても理解を深める。	01AD411を既に履修した者は履修不可。他大学からの受講希望が多い場合は遠隔講義室で実施する予定。事前に実施教室を確認すること。01AH206と同一。
01AD411	Terrestrial Ecology	1	2.0	1・2	春AB	月1,2	理科系 C502	廣田 充, 安立 美奈子	There are many domains in this huge scientific knowledge 'Ecology' depending on target scale, objectives, and ecosystem. I address terrestrial ecosystem ecology mainly focused on plants (vegetation) and its surrounding environments. Although I'll try to talk students who have little background on ecology and biology, please don't forget to make every effort to understand and to have flexibility to think for oneself. I'll introduce not only keystones on terrestrial ecosystem ecology, but also the latest hot-topics based on recent research.	Who already took 01AD409 cannot take this class. 英語で授業。
01AD412	水域生態学	1	2.0	1・2	秋AB	集中	理科系 B501	大森 裕子	海洋、湖沼、河川などの水域は地球上に広く分布し、現在の地球環境を成立し維持するために大きな役割を負っている。また、水域に生息する多種多様な生物群集の物質代謝は、水域における多くの物質の存在状態、存在量、変化量などを支配し、さらにこれらの生物群は、物質・エネルギーのやりとりを通して生物の共生系を構成している。本授業では、海洋に生息する生物群の共生系を、物質・エネルギーのやりとりを通して理解すると共に、地球環境との関わりについても考察する。	11-12月の土曜日に4回実施 11/1-12/26
01AD414	保全生態学	1	2.0	1・2	春AB	月4,5	理科系 C502	横井 智之	人間社会の発展とともに、生態系の機能や生物群集の多様性、種間関係などは急速に変化しつつある。これにより、生物と人間とをめぐめる関係も変化してきた。従来からの害虫管理や益虫利用に加えて、絶滅危惧種の保全や外来種問題が生じている。本講義では、地球規模および地域の生物多様性の成立の歴史を概説し、動物(特に昆虫)と植物との関係に着目して、生態系保全や外来生物との関係を考えるための方法論や動物生態学・保全生態学の基礎的知識を解説する。	
01AD415	生物相互作用論	1	2.0	1・2	春AB	木5,6	理科系 C502	山路 恵子	生物間の相互関係(植物-植物、植物-微生物、植物-昆虫)、種々の環境ストレス(大気汚染、土壌汚染)下における植物の応答について、生態化学的な視点から解説する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD416	環境化学物質リスク論	1	1.0	1・2	春AB	木2	理科系B107	梶山 幹夫	人間は様々な化学物質を自然界から単離しまた人工的に創製して利用することで多くの恩恵を受けてきたが、これらの化学物質による環境並びに人体への影響が無視しえない状況になっている。人間及びその環境と天然及び人工化学物質の関わりについて概説し、化学物質の内包する性質をそれらが発現し得るリスクの観点から述べ、リスクの回避法にも言及する。	
01AD418	地域環境保健学	1	2.0	1・2					環境因子がどのようにヒトの健康に影響を及ぼしうるかを理解することを目標として、生活環境中の化学物質等を取り上げ、それらの生体影響について作用機序を含めて解説する。また、関連するテーマで討論を行う。	2018年度開講せず。 連係大学院方式以外の学生も受講可能
01AD419	環境ストレス概論	1	1.0	1・2	秋AB	水3	4E608		環境と人間の相互作用について、主に精神心理学、行動科学の両面から論じる。特に近年問題のなることが多い職場のメンタルヘルスを中心に、認知症や家庭間(アルコール、暴力)など環境との相互作用が大きいトピックを取り上げながら、単に疾病原因論の観点からだけでなく、健康生成説の立場からも、人間がより良く生きるための方策について包括的に学ぶことを目的とする。また、本授業においては、特殊環境下における人間と環境の相互作用の検討として、宇宙医学についても触れる予定である。出席とレポートにて評価を行う。	01EQ407と同一。 英語で授業。
01AD424	都市形成史	1	2.0	1・2	春AB	火1,2	3C201	藤川 昌樹, 松原 康介	前近代に成立した都市の構成が、如何なる影響を現状の都市空間に与えているかにつき、事例を示しながら講義する。講義と平行して文献・絵図史料の分析、フィールドワークを行い、参加者みずからが発表する。	01CN312と同一。
01AD425	住環境計画論	1	2.0	1・2	春AB	火5,6	理科系B107	藤井 さやか	人口減少と少子高齢化がいち早く到来している地域を主対象に、地域資源の活用や住民参加による住環境計画・コミュニティ再生手法について、実践事例を交えながら講義し、縮小社会における持続可能な住環境計画手法について考究する。	01CN314と同一。
01AD426	空間情報科学	2	2.0	1・2	春AB	木3,4	3E404	渡辺 俊	情報技術を利用した空間のモデル化・分析手法について、その理論から応用までを概観するとともに、具体的なコンピュータ・アプリケーション(ArcGIS)の操作を通じて理解を深める。	01CF307, 01CN109と同一。
01AD430	Environmental Law	1	2.0	1・2	秋学期	集中	理科系B107	朝賀 広伸, 水野 谷 剛	Content and purpose of this lecture is as follows. (1) Understand the principles and basic concepts of Environmental Law and Policy (including international law and domestic law) to solve the environmental problems of domestic and global environmental issues. (2) Outline the "framework of Basic Environment Law" and "Environmental Assessment Law", and other environmental laws. (3) Consider and discuss, for legal measures in developing countries and developed countries. As a result, develop the ability to understand and solve the environmental issues.	予備日: 12/15 英語で授業。 10/13, 11/24, 12/1, 12/8
01AD432	植生学	1	1.0	1・2	秋B	火1,2	理科系B107	上條 隆志, 川田 清和, 清野 達之	陸域を覆っている植生について理解するために、植生の種類、成立要因、分布などについて解説する。さらに、西アジアや内蒙古の植生の現状をスライドで解説する。また、理解を深めるために、実際に植生調査を体験する。	01AH203, 02JZ009と同一。 01AD318「Vegetation science」、自然保護寄附講座の「植生学」と「Vegetation science」とは重複履修出来ない。
01AD440	都市・地域解析学	1	2.0	1・2	秋AB	金1,2	3E404	大澤 義明, 鈴木 勉, 石井 儀光	都市・地域解析の基礎知識を習得し、都市や地域の構成要素の配置や密度をモデル化する技法を身に付ける。身近な応用例を見つけて、取り上げた問題のメカニズムを解明したり、解決策を導いたりすることをを行う。作業は2・3名でグループをつくって進める。	01CF305, 01CN204と同一。
01AD525	環境防災計画論	1	1.0	1・2	秋AB	月3	防災203	桜井 亘	豪雨や火山噴火、地震、地球温暖化の影響などによる環境の劇的な変化と、それに伴う土砂災害にかかわる現象と対策について考究する。	他大学からの受講希望が多い場合は遠隔講義室で実施する予定。事前に実施教室を確認すること。 01AH407と同一。
01AD526	環境防災政策論	1	1.0	1・2	春BC	集中	防災203	武士 俊也	土砂災害対策を中心とする環境防災にかかわる施策、行政システム、予算制度、防災対応方策等について講述する。	他大学からの受講希望が多い場合は遠隔講義室で実施する予定。事前に実施教室を確認すること。 01AH408と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AD593	Introduction to Environmental Disaster Prevention	1	1.0	1・2	春AB	集中		宮本 邦明, 植田 宏昭, 雷 中方, 山路 恵子		英語で授業。
01AD600	Landscape Planning	1	1.0	1・2	秋AB	月3	理科系 C502	村上 暁信	The course aims to help students to: understand and apply the scientific principles underlying the landscape, learn to evaluate the pros and cons of a range of technologies for creating comfortable and sustainable environments, and acquire the knowledge required to critically discuss/present the environmental concept of urban design.	英語で授業。
01AD601	Applied Environmental Ethics (Introduction to English Presentation and Debate)	1	2.0	1・2	秋AB	月1,2	理科系 B107	松井 健一	This course aims to develop and refine your academic skills that are imperative in analyzing legal, social, and ethical implications of environmental issues. You are asked to actively participate in discussing, presenting, critically reading and writing about these issues so that you will be fully prepared for your internationally competent career as an environmental scientist or leader. Our topics for discussion include (1) environmental leadership/ diplomacy; (2) eco-economy; (3) rights of nature; (4) climate change; (5) LMOs and ELSI; (6) biological diversity and ecological service; (7) global bioethics; (8) cultural diversity and indigenous knowledge; and (9) innovative approaches to environmental ethics. The examination of these wide-ranging topics will not only enrich your knowledge about environmental ethics but also enlarge your academic background as environmental science communicator.	01AH404, 01AJ204と同一。 英語で授業。
01AD605	Environmental Health Perspective	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4	4E608	熊谷 嘉人, 新開 泰弘	There are numerous chemical substances in the environment, resulting in some serious effects on the body. However, current molecular studies suggest that illnesses caused by exposure to environmental chemicals are, at least in part, attributable to the interaction with macromolecules like proteins in the organism. This lecture offers an opportunity to learn about a variety of symptoms caused by exposure of humans to environmental chemical and initial response and cellular protection against such chemicals.	01EQ406, 01ER102と同一。 英語で授業。
01AD614	Simulation of Environmental Policy	1	2.0	1・2	春AB	木1,2	理科系 C502	水野谷 剛	環境政策の総合評価を行うために必要な経済学的知識と評価手法について概説する。講義は英語で行う。	01AJ301と同一。 英語で授業。